

令和6年度事業報告

I 令和6年度 運営方針に基づく取り組みと成果

1. 一般財団法人としての目的を達成するための事業の充実に取り組む
 - ・計画された行事の確実な実施
 - ・『会報 147号』発行
 - ・『本多流叢書 第6巻』の製作・頒布

2. 広報の充実により会員の拡大に努める
 - ・公式ホームページにおけるニュースリリースの内容充実とタイムリーな開示
 - ・facebook、instagram等のソーシャルネットワークシステムによる情報発信
 - ・全日本弓道連盟機関誌『月刊弓道』への名刺広告（暑中、年賀）
 - ・学生弓道への大会広告（全関東大会、全日本大会）
 - ・新入会員9名（令和7年度からの入会予定者4名）

3. 研修等の充実により本多流弓道継承のため指導者の養成に努める
 - ・各行事に師範会が複数名参加し、矢渡、案内を実施
 - ・京都研修会における指導者錬成研修の実施
 - ・ポーランドにおいて欧州支部研修会を開催

4. 財団運営に関わる事務の効率化を図る
 - ・クラウド型ファイル共有システムの定着
 - ・定款変更（評議員・理事定数削減）の検討・実施

5. 財政基盤の強化を図る
 - ・会費未納者への督促状発出
 - ・本部道場建設基金の設置について継続検討

II 行事明細

月／日	開催	行事名	場所
1/28 (日)	○	「新年射会」 兼「大島盾争奪支部対抗戦」	明治神宮至誠館第二弓道場
2/10 (土)	○	運営委員会	オンライン
2/12 (祝)	○	第 33 回大学 OB・OG 射会	東京武道館
3/2 (土)	○	定時理事会、定時評議員会	オンライン
3/23 (土)	○	(午前) 稽古会 (午後) 追悼射会	東京武道館
4/13 (土)	○	運営委員会	オンライン
5/3 (祝)	○	京都研修会／定期中央・連合審査／懇親会	京都外大西高校
6/8 (土)	○	運営委員会	オンライン
6/22 (土) 6/23 (日)	○	合宿研修会 臨時中央・連合審査	野辺山：帝産ロッヂ
6～8 月	○	第 45 回通信射会	各支部にて実施
7/15 (祝)	○	第 13 回遠の大会	東京武道館
8/3 (土)	○	運営委員会	オンライン
10/5 (土)	○	運営委員会	オンライン
10/26 (土) 10/27 (日)	○	中央研修会 (1 日目) 研究発表会 (2 日目) 実技	(研究発表会) 日比谷図書文化会館／ (実技) 明治神宮至誠館第二弓道場
11/4 (祝日振替)	○	第 53 回大学対抗懇親射会	東京武道館
12/14 (土)	○	(午前) 定期中央・連合審査 (午後) 納射会	駒沢オリンピック公園総合運動場
12/21 (土)	○	定時理事会、運営委員会	オンライン

以上

事業報告の附属明細書

■新年射会・大島盾争奪支部対抗戦

日時：令和六年一月二十八日（日）十時～一七時

場所：明治神宮至誠館第二弓道場

開会式終了後、午前中は宗家の「巻藁射礼」に始まり、続いて師範会による「繰大前」、その後、会員による新年射礼が行われました。

午後は「大島盾争奪支部対抗戦」の競射会を行い、各支部が日頃の稽古の成果を披露しました。個人戦では皆中者が二名出て、大いに盛り上がりました。最後に余興的を行い、寒さの中ではありませんでしたが、一日楽しく弓を引きました。

○新年射会兼大島楯争奪支部対抗戦

参加六十九名（出場六十三名）

○団体戦

優 勝 洗心洞稽古会支部 B

星野 保、山田 一雅（横浜）、坂本 武彦

準優勝 東海支部 A

増田 宗宏、増田由起子、北原 修

第三位 静心洞支部

高山 光、高山 幸子、飯塚 誠一

○個人戦 八射

優 勝 飯塚 誠一（静心洞支部） 皆中（皆中賞）

準優勝 北原 修（東海支部 A） 皆中（皆中賞）

第三位 吉永 衣里（帝京大学 B） 七中

■第三十三回大学OB・OG親善射会

日時：令和六年二月十二日（祝）十時～十七時

場所：東京武道館

本射会は本多流三世利生（としなり）宗家の発案によるもので、大学を卒業すると弓から離れてしまう方が多い中でも、年に一度は弓を手にする機会として、また弓友との旧交を温める機会を作ろうという主旨のもと、例年春に開催しているものです。

第三十三回となる今回は、三人立一チームとして全三十八チーム・百十三名が出場し、コロナ禍前の水準を取り戻しました。参加者は団体戦・トーナメント戦・個人戦で熱戦を繰り広げました。特にトーナメント戦では出場選手の合計年齢を基準としたハンデキャップがチーム毎に付与される伝統があり、単なる的中を超えた勝負の面白さがありました。競射のあとは余興的をおこない、参加者相互の親睦を深めつつ、和やかなうちに閉会となりました。各種成績は以下のとおりです。（敬称略）

【団体の部】

優 勝 明星大学混成 きらぼし弓友会 三〇中

山本 航也、前田 晃利、田中 海斗

準優勝 国際武道大学 弓道部OB会 三〇中

齋藤 壮甫、ラヒップ・イヴェス、黒澤 優太

第三位 東京農業大学 弓友会 二十七中

浅野 安岐、大木 銀太、白水 幹也

【トーナメントの部】

優 勝 京都大学 東京反求会

前田 敏明、新美 友治、山地 正克

準優勝 北海道大学 北弓会

野澤 康次郎、松岡 一也、神尾 和弘

【個人の部】 十二射

優 勝 (三名が皆中で同中)

国際武道大学 弓道部OB会 黒澤 優太 皆中

明星大学混成 きらぼし弓友会 山本 航也 皆中

立教大学 聖弓会B 三浦 智貴 皆中

射技優秀賞

埼玉大学 弓酔会A 松本 英悟

立教大学 聖弓会B 三浦 智貴

レジェンド賞

本多流生弓会 寒川 泰壽

東京大学 赤門弓友会A 寺部 孝平

東京大学 赤門弓友会A 土井 幸平

東京理科大学 弓遊会 大嶋 恭彦

■追悼射会

今回の対象者：大島善春氏

日時：令和五年三月二十三日（土）一三時～十七時

※午前中は自由稽古会

場所：東京武道館

本射会は永年にわたり本会の運営に貢献された役員等を追悼する目的で開催されるものです。宗家ははじめ、ゆかりの方々二十六名が参加、心のこもった追悼射礼が行われ、故人を偲びました。

■京都研修会 定期連合・中央審査

日時：令和六年五月三日（祝）十時～十七時

場所：京都外大西高等学校 三条グラウンド弓道場

今年の研修会は二十七名の参加で、恒例の日置流竹林派起請文の唱和から始まり、師範会による矢渡し、宗家の講話と続きました。

少し汗ばむ陽気でしたが、参加者は時間いっぱい射技研修に取り組みました。午後には射技研修の他に、師範会による演武や印可審査も行われ、充実した研修となりました。

■第四十五回通信射会

日時 令和六年六月～八月

場所 各支部で実施

射数 二〇射

成績 優勝 川端 文夫（伊勢崎支部）

準優勝 仲谷 滉祐（伊勢崎支部）

第三位 田中 柊平（東京外語大支部）

第四位 山室 公男（伊勢崎支部）

第五位 高野 聖（一般参加）

十一支部・二〇一名参加 詳細別紙

令和6年 第45回通信射会

	支部名	優勝		準優勝		第3位		第4位		第5位		参加人数
		的	的中	的	的中	的	的中	的	的中	的	的中	
1	伊勢崎	仲谷 滉祐	17	川端 文夫	17	山室 公男	16	根岸 納里子	15	稲葉 愛	14	9
2	静心洞	飯塚 敏一	13	須藤 雅明	12	高山 光	10	羽石 幸一	8	高山 幸子	6	7
3	洗心洞稽古会	高野 聖	16	星野 保	14	渡戸 岩雄	10	吉村 圭史	10	高橋 俊	8	9
4	東京	城戸 晴美	12	吉田 隆一	9	松村 海沙	9	和田 宜夫	7	大塚 美希	7	17
5	東京外語大	田中 柊平	17	遠藤 汰一	15	森 祐輔	14	山田 実乃里	14	中村 日出男	13	40
6	横浜	保科 拓未	14	山田 一雅	13	逸見 綾乃	11	金松 貴子	10	益田 克美	8	17
7	埼玉東部	堀井 剛	14	勝俣 俊一	12	星野 昌行	11	宍沢 久嗣	11	金田 昌子	10	9
8	埼玉西部	三好 啓子	16	下田 徹	12	伊藤 直美	12	直井 良一	12	田中 明子	12	24
9	東海	丸岡 隆芳	13	大村 三恵子	13	北原 修	13	船崎 光男	12	増田 由紀子	12	13
10	関西	森岡 徹	10	川口 敏江	10	山下 博美	8	高島 洋	8	山岸 稔明	7	10
11	欧州	アコス・ナギイ	15	ニコニコル・バシチャイダー	15	アレクサンデル・クラメル	14	ステューブレン・フォーネー	13	クリスチャン・ヨッフェンバウアー	12	46

201

入賞者

総合順位	氏名	(年齢)	的中
優勝	川端 文夫	77	17
準優勝	仲谷 滉祐	27	17
第3位	田中 柊平	21	17
第4位	山室 公男	70	16
第5位	高野 聖	39	16
	三好 啓子		16

※同中の場合は年齢順で決定

【参考】参加支部と参加人数の推移

開催年	参加支部	参加人数
令和元年	11支部	249人
令和2年	コロナにより中止	
令和3年	6支部	124人
令和4年	10支部	179人
令和5年	9支部	162人

■合宿研修会 臨時連合・中央審査

日時：令和六年六月二十二日（土）十二時三〇分から

令和六年六月二十三日（日）十四時まで

場所：野辺山・帝産ロッヂ

宗家は欠席でしたが、高原の爽やかな空気のなか、参加者三十九名により、初日は射礼、射技で射場を分け、それぞれに師範会がついて各人の技量に応じた丁寧な案内を受けながら研修を行いました。特に射技研修では軽装・素足で当流の目指す「体全体の力を使って大きく引き、緩まず鋭い離で早い矢を飛ばす」ための土台となる足踏・胴造を強く意識した稽古を行いました。夕刻には印可審査が行われ、一名が進境に応じた印可が許されました。二日目はあいにくの雨模様でしたが、前半は参加者全員による組立射礼の稽古、後半は仕上げの射技研修を行いました。

■第十三回遠的大会

日時：令和五年七月十五日（祝）十時～十六時

場所：東京武道館

射数 二〇射

参加十八名、見学者二名と少人数の大会となりましたが、夏の一日、さわやかな汗を流しました。

成績 優勝 関口 二郎（埼玉西部支部）

準優勝 遠藤 汰一（東京外国語大学）

第三位 吉村 圭史（洗心洞稽古会支部）

第四位 飯野雄一郎（赤門支部）

第五位 吉田 隆一（東京支部）

■第五十三回大学対抗懇親射会

日時：令和六年十一月四日（祝日振替）十時～十六時

場所：東京武道館

この射会は、流祖本多利實翁以来の伝統である学生への弓道普及ならびに学校弓道の振興を目的として、主に関東地区で本多流とゆかりの深い大学に参加を呼びかけ、毎年開催しています。

【出場校】（五十音順） 十二校四十九名

国際武道大学、国士舘大学、駒澤大学、上智大学、城西大学、大東文化大学、東京大学、東京外国語大学、東京経済大学、東京農業大学、日本大学、明星大学

【団体】

優勝 国際武道大学

準優勝 日本大学

第三位 大東文化大学

【個人】

皆 中 賞 近藤 響 選手（日本大学）

若松 聖高 選手（大東文化大学）

藤塚 大和 選手（国際武道大学）

射技優秀賞 工藤 拓海 選手（日本大学）

高柳明日実 選手（東京経済大学）

■納射会 定期中央・連合審査

日時：令和六年十二月十四日（土）十三時～十六時

※午前中は審査

場所：駒沢オリンピック公園総合運動場

印可審査は二名が受審。進境に応じて両名とも印可が許されました。

納射会の参加者は十六名。納射会に先立ち、京都研修会での印可者へ宗家より印可状授与がありました。組立射礼、その後、お楽しみの余興的も用意され、風の強い寒い一日でしたが今年一年を締め括りました。

貸借対照表

令和6年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	247,048	115,182	131,866
預金	9,125,791	10,451,719	△ 1,325,928
棚卸資産	182,806	231,075	△ 48,269
前払費用			
預け金			
流動資産合計	9,555,645	10,797,976	△ 1,242,331
2 固定資産			
(1) 基本財産			
文庫書籍	1,000,000	1,000,000	0
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	4,000,000	4,000,000	0
(2) 特定資産			
0	0	0	0
特定資産合計			0
固定資産合計	4,000,000	4,000,000	
資産合計	13,555,645	14,797,976	△ 1,242,331
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	116,500	63,000	53,500
預り金			0
流動負債合計	116,500	63,000	53,500
負債合計	116,500	63,000	53,500
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
民間寄付金	1,000,000	1,000,000	0
2 一般正味財産	12,439,145	13,734,976	△ 1,295,831
前期繰越正味財産	13,734,976	8,424,807	5,310,169
当期正味財産増減額	△ 1,295,831	5,310,169	△ 6,606,000
正味財産合計	13,439,145	14,734,976	△ 1,295,831
負債及び正味財産合計	13,555,645	14,797,976	△ 1,242,331

監 査 報 告 書

一般財団法人**本多流生弓会**

理事長 本多 利永 殿

一般財団法人**本多流生弓会** 定款第 12 条及び第 29 条の規定により、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、理事会その他重要な会議に出席し、必要に応じて説明を求め、職務執行の状況を調査しました。また、令和 6 年の事業報告及び計算書類（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）等について検討しました。

その結果、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められず、前記事業報告及び計算書類等の内容は適正なものと認めます。

以上を証明し、記名捺印して監査報告とします。

令和 7 年 1 月 30 日

一般財団法人**本多流生弓会**

監事 青江 純平 

監事 恒川 敦宏 